

試験車両により公道で取得された車外画像データの取り扱いについて

いすゞ自動車株式会社およびその関連会社*は、商用車に求められる安全・安心な運行はもとより、脱炭素化(カーボンニュートラル、以下、CN)や進化する物流への貢献などの社会的課題に応えるべく、車両・システムやサービスの研究開発を行なっております。

そのため、以下の目的で、カメラ等のセンサを搭載した試験車両の公道走行により周辺の車外画像データを取得し、利用いたします。

- ・自動運転（遠隔操作を含む）
- ・先進安全に関わる新技術の研究開発
- ・車両から得られるデータを活用した新たなサービスの研究開発(CN や運行管理、物流最適化を含む)
- ・その他、新技術の量産過程での実路性能確認・品質向上など

収集された車外画像データは、ドライバの状態や、危険回避を含めた行動を理解したり、自動運転・先進安全システムが作動した道路交通状況を把握したりするために有用です。新技術の作り込みや、量産前の性能確認、品質向上のためには、テストコース上の検討に留めることなく、実際の交通環境における検討も重要と考えております。

車外画像データには、不特定多数の個人や車のナンバープレート等の映り込みが想定されますが、映り込んだ歩行者・車両などのプライバシーを尊重いたします。映り込んだ対象物に対して個別の ID やタグ付けをしたり、映り込んだ方の個人データやそれをデータベースとして取り扱ったりすることはありません。また、以下の場合を除き、社外への提供は行いません。

- A. システムの研究開発の目的で関連する開発会社（共同研究先も含む）または委託先に提供する場合（その場合は、データ管理に関する契約締結、管理等の確認のほか、可能な限り匿名化処理を行います）
- B. 警察・裁判所・政府機関などからの強制力を伴う法的な要請に基づく場合

取得した車外画像データは、動画ファイル形式あるいは解析ソフト専用のファイル形式で、社内で管理されたサーバ内に保管されます。サーバの管理については、適切なセキュリティ・ルールを定め、ガイドラインを設けた上で、それに準拠したデータの取り扱いを行うことを徹底しております。

なお、これらの取り扱いについては今後も、必要に応じて見直していきます。

*株式会社いすゞ中央研究所，株式会社いすゞ北海道試験場